

# 県内初の農業用水を利用した小水力発電

## <概要>

- ・ 発電所の名称：日野川用水発電所  
(福井県越前市)
- ・ 事業主体：日野川用水土地改良区
- ・ 最大出力：141kW
- ・ 年間発電可能量：約100万kWh  
(一般家庭250世帯分の電力に相当)
- ・ 最大使用水量：0.642m<sup>3</sup>/s ・ 有効落差：37.1m
- ・ 運転開始時期：H26年6月 (電力会社へ全量売電)
- ・ 総事業費：2億1,000万円



## <特徴的な取組>

- ・ 福井県内で初の農業用水を利用した小水力発電所。
- ・ 日野川用水が有する未利用エネルギーを有効利用し、持続可能なエネルギー供給に寄与するとともに、土地改良区施設の維持管理費の軽減を図るため整備。
- ・ 頭首工から取水しパイプラインにて送水される農業用水のうち、日野用水路に供給する水量と落差を利用して水車を回し発電。
- ・ 売電収入は、発電所の運転経費や土地改良施設の維持管理費に充当し、農家の負担軽減を図っている。

